

## 義援金の報告

平成 24 年 1 月 26 日  
杉森地域納涼盆踊り大会実行委員会

平成 23 年 8 月「第 23 回杉森地域納涼盆踊り大会」において募った東日本大震災向けの義援金を、被災地のお祭りに寄付しようとの事で、この度、岩手県遠野市観光協会に行きまして参りました。

3 月 11 日の震災以降、日本国内でお祭りを自粛するムードが立ち込める中、さらに原発問題から節電が必要となり、実行委員会でも例年同様、盆踊り大会を行うのはいかなるものか苦慮してまいりました。

しかし、杉森地域の子供たちが楽しみにしているお祭りを縮小・中止するのは、逆効果との意見が大勢を占め、「例年通り、盛大に行おう。その代り、義援金を集め、被災地のお祭りに寄付しよう！」との結論になり、今回の行動が実現しました。

義援金は、昨夏の納涼盆踊り大会での「スナップ写真撮影店」と「綿菓子とおもちやの店」での利益、¥137,554 円になりました。(活動メンバーは全てボランティアです。)

岩手県遠野市は、被災地支援の拠点となっており、調布市も支援している行政です。そして今回、1 月 21 日に遠野ふるさと村で行われた「どべっこ祭り」に参加し、遠野市観光協会に謹んで義援金を手渡してまいりました。

一ノ渡遠野市観光協会会長から、「今回の寄付を被災地から遠野の祭りに来る方々のボランティアバスの運行費用を中心に、有意義に使わせていただきます。」とお言葉をいただき、当方参加幹事 7 名も、ほっと胸をなでおろしました。

日頃、地域の皆様に支えていただきおこなわれている「杉森地域納涼盆踊り大会」も以上のような活動ができたことを誇りに、実行委員一同、更なる継続と地域との和を大切に、活動していく所存です。

大野祐司

一ノ渡会長へ寄付金を渡す



立花観光協会事務局長と談笑



ほっとした瞬間



遠野ふるさと村「どべっこ祭り」



どべっこ祭りの「どぶろく」と食事



同行者 7 名



海岸の被災地へ足を延ばしました。復興はまだまだ、時間がかかりそうです。  
私達にできる事は何なのでしょう？ 継続していかないと！と感じました。



陸前高田の駅のあった場所  
生木が裂かれたまま



見回すとがれきの山  
道路だけが片付けられて通行可能に



中学校の校庭は仮設住宅に



1本だけ残った松 生きて欲しい  
“希望”を感じる



廃墟と化した建物・車が屋根に取り残されたまま



穴のあいた建物



でも地元の人達は  
とっても元気

看板娘(?)と記念撮影

